

平成30年度特定非営利活動に係る事業報告書

NPO法人八千代オイコス

<実施事業の総括>

30年度は基本的な活動をベースに、<子ども達の教育の場>作りを重点においた施策を行動指針として活動を行った。

柱とする「川の学校」は本年度12号台風の影響による中止を余儀なくされたが、過去の実績は事業の柱として揺るぎないものとして確立された。

本年度は更にく子ども達への教育の場>として、従来の田んぼの活動を体系的なマニュアルを作り、多数の児童（父兄を含む）に田植え～稲刈り・脱穀迄の米づくり体験に挑戦してもらった。

これらの計画を推進するにあたり、活動資金の裏付けとして「八千代市民活動団体支援金交付制度」及び「子どもゆめ基金」活用を得られたことは大きな成果だった。

<実施事業内容>

1. 地域環境の保全を図るための自然環境調査・評価事業

よみがえれ花輪川事業（豊かな自然を感じられる花輪川）

- ①毎月の川作業の効率性と内容向上を高める為、推進担当を専門に設定した。
しかし、当初計画の水草の増殖にまでは及ばなかった。（次年度の課題としたい）
- ②花壇、遊歩道の整備はよく図られ、利用する市民へ貢献が出来た。

2. 自然開発に関する意識開発の為の教育支援事業

①川の学校 in 花輪川

12回目を迎えて全て準備を完了した実施直前12号台風接近により八千代市内も風雨による影響が大きく予想され、前日に中止の決断をした。

- ②従来の田んぼ活動をベースに、新しく休耕田借り受け島田谷津の保全も兼ねて市内小学校へのPRにより20組40人の親子を募集した。結果20組、親子60人余の参加者を得、米づくり体験を実施した。

この事によりオイコスの目指す、「子ども達の教育の場」を通して子ども達に自然の営みを体験する事が出来た。

結果に課題はあるが、今後の継続モデルとしたい。

- ③オイコスの継続活動として、「エコウォーキング」を春・秋行っているが最近では地域の歴史をたどりながら、併せてゴミ拾いを行う事で参加者に環境保護の意識を高めてもらう企画が定着してきた。今年度は平成30年10月21日、平成31年3月24日の2回開催した。毎回30名から40名程の参加者で実施。

3. 地域のホタル棲息環境の保全・観測調査

- ①長年市内に棲息するヘイケボタルの調査を行って来たが、自然環境の悪化に伴い殆どその姿が確認できず、2015年を以って棲息調査を打ち切った。
- ②年一回のホタル観賞会は継続し、今年度も8月4日（土）総勢23名が市内の数少ない棲息地・石神谷津で観賞会に参加、夏の夜を楽しんだ。

4. 休耕田の有効利用事業

今年度より神久保より島田台に場所を変え、谷津の保全も兼ねて農業などについて学び体験する場作りをスタートさせた。初年度は広く市内小学校へチラシを配布、20組40人の参加者を募集したところ、20組60人余の参加者が決まり田植え～稲刈り・脱穀までの生きた農業体験を経験してもらえた。

又、この企画を通して最後に収穫の喜びを「餅つき会」を行い、半年の苦勞を餅を食べながら楽しい語らいが出来た。

5. まちづくり活動に係る行政、諸団体との協働及びネットワーク構築事業

(1) 市民活動団体支援金制度（1%）に応募。

花輪川に関わる活動資金の源泉として、本年も会全体で取り組んだ。
結果 81,044円の助成金を得た。

(2) <川の学校>活動資金として「市民団体支援金」を活用した。

しかし、台風12号接近により、直前に中止とし一部準備の為の支出金もありこの精算業務に追われた。

(3) 行政及び市民団体との協働。

・ほたるの里実行委員会及び応援活動。

① 八千代市市民活動サポートセンターでの協働。

八千代オイコスより市民活動サポートセンターへの継続的にスタッフを派遣その運営に積極的に参画している。

- ・平成30年11月4日 市民活動フェスティバル2018
- ・平成30年11月30日 地域デビュー講座 ふれあい大学
- ・平成30年12月21日八千代生物モニタリング調査説明会
- ・平成31年 1月27日 まちづくり・ひとづくりシンポジウム
- ・平成31年 2月3日 市民活動団体支援金交付制度説明会
- ・平成31年 2月23日ボランティアカフェ ボランティア登録団体との交流会

② 千葉県との協働

- ・千葉県による生き物調査参画
- ・千葉県環境報告定期講読（ネット配信）
- ・千葉県「印旛沼連携プログラム」として年2回の「花輪川エコウォーキング」開催。

③八千代市「ほたる里づくり実行委員会」参画。

④その他

- ・市民活動団体連合会として、第3回「千本桜まつり」実行委員会で参加
本年は、オイコスより6名がボランティア活動に参加。
- ・ボーイスカウト第2団との共同活動。ボーイスカウトデイ9月23日（日）
- ・ヤマトミクリの里づくり協議会（島田谷津保全活動）休耕田草刈り、オオフサモ駆除。

（4）企業との協賛

- ・イオン八千代緑が丘店に於いて「イオン幸せの黄色いレシート」キャンペーンに
毎月11日に店頭活動を行い、年度末に文具用品、作業用品等の受給を得ている。

（5）広報活動

①八千代オイコス会報「かわら版」の発行

本年度は37号（6月）、38号（9月）、39号（2月）を発刊し、市内公共機関や
会員等に配布し八千代オイコスの活動を広く紹介した。又、オイコスイベントに
参加の子ども達に、思い思いの感想文を寄稿してもらい、発行の都度家庭へも届け
思い出作りの記念紙とした。

② ホームページの充実

オイコスの活動状況を逐一掲載、「かわら版」とは別にオイコス行事の都度きめこま
かくフォローがなされ、PR効果を高めている。

（6）本年度の成果と留意点

八千代オイコスは八千代市の都市化に加えて、休耕地の増加・谷津山の荒廃化
が進む中で唯一自然の風景が残る北西部の中に位置し、オイコスの活動の拠点
とする花輪川で創立以来活動を継続してきた。会のテーマとする「花輪川～印
旛沼」のクリーン化を目指して活動は毎月継続してきた。しかし、十数年の
活動を通して印旛沼が理想の姿に変化した効果も顕著には見られず、活動に
ジレンマを感じる面もある。

しかし、我々が単独で成しえる事ではなく、印旛沼連携活動の一環として今後
も地道に継続して行くことが重要である。

本年度は“子ども達への地域の教育の場”作りを重要指針とし、「川の学校」
に加えて「子供たちと米づくり体験」の事業を展開出来た事は大きな成果と
なった。

川の環境向上活動等には、まだ不達成部分もあるが来年度の課題としたい。

又、新規メンバーの加入促進にも力を入れて行きたい。

具体化を計った花輪川水質調べは不完全、グループの勉強会も実現できず来季の宿題と
したい。

—以上—